

令和8年度採用

岐阜県公立学校教員採用選考試験 第1次選考試験

教科専門

中学校 美術

受験番号	
------	--

試験時間

10時30分～11時40分（70分）

【注意事項】

- 1 放送で指示があるまで、この問題用紙に手を触れないでください。
- 2 問題の印刷が不鮮明な場合には挙手をして、試験監督官が来るのを待ってください。
- 3 終了後、答案用紙（マークシート）のみ回収します。この問題用紙は各自持ち帰ってください。

1

(1) 下の作品 A～C を，描かれた年代の古い順に左から並べたものとして最も適切なものを，次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は11。

A	B	C
著作権保護の観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の観点により、 掲載いたしません。

- ① A → B → C
- ② A → C → B
- ③ B → A → C
- ④ B → C → A
- ⑤ C → A → B
- ⑥ C → B → A

- (2) 次の文章は、日本画について説明したものである。文中の空欄(ア)～(エ)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は12。

日本画という用語は明治時代にはじめて慣用されるようになった。その祖に位置づけられるのは『悲母観音』(1888年)で知られる(ア)である。日本画の顔料として代表的なものは岩絵具で、これは(イ)。その他にも貝殻を砕いてつくる(ウ)や、煤からつくる墨などがある。膠は、このような顔料を(エ)のに使われる。

- ① ア 狩野芳崖 イ 鉱石を砕いて作られる ウ 胡粉 エ 接着する
- ② ア 富岡鉄斎 イ 鉱石を砕いて作られる ウ 丹 エ 接着する
- ③ ア 狩野芳崖 イ 土で作られる ウ 丹 エ 混合させる
- ④ ア 富岡鉄斎 イ 鉱石を砕いて作られる ウ 胡粉 エ 混合させる
- ⑤ ア 狩野芳崖 イ 土で作られる ウ 胡粉 エ 接着する

(3) 水彩画について説明した文として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

- ① 透明水彩絵の具は顔料をアラビアゴムなどで練り合わせて作る。
- ② 透明水彩絵の具は重ね塗りの表現をすることができない。
- ③ ドライブラシとは、乾いた筆に水の量が少ない絵の具をつけて、かすれたタッチで描く技法である。
- ④ 透明水彩絵の具を塗った後に、水を含ませた筆でなぞって色をなじませる技法をぼかしという。
- ⑤ 筆を使い終わったら、付け根まで水でよく洗い流し、乾燥後は穂先が曲がったりしないように注意して保管する。

- (4) 下の彫刻作品の作者，作品名，様式の組合せとして最も適切なものを，次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は14。

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

	作者	作品名	様式
①	ミケランジェロ	ラオコーン	ルネサンス
②	カノーヴァ	ヘラクレスとリカス	ルネサンス
③	ミケランジェロ	ラオコーン	新古典主義
④	カノーヴァ	ヘラクレスとリカス	新古典主義
⑤	ミケランジェロ	ヘラクレスとリカス	ルネサンス
⑥	カノーヴァ	ラオコーン	新古典主義

- (5) 次の文章は、彫刻の種類と指導法について説明したものである。文中の空欄（ア）～（ウ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は15。

平面を彫り込む、またはそこに形を盛り上げて肉付けをする彫刻を（ア）という。（ア）を制作する際には、特有の重なり表現を活かせるよう（イ）を意識することを指導する。西洋・東洋問わず多様な作例があるが、特に古代ギリシアで作られた（ウ）は有名である。

- ① ア 丸彫り イ 手前の部分と奥の部分の空間の圧縮
ウ パルテノン・フリーズ
- ② ア 浮き彫り イ テクスチャの差異化
ウ ベルヴェデーレのアポロン
- ③ ア 丸彫り イ 手前の部分と奥の部分の空間の圧縮
ウ ベルヴェデーレのアポロン
- ④ ア 浮き彫り イ 手前の部分と奥の部分の空間の圧縮
ウ パルテノン・フリーズ
- ⑤ ア 丸彫り イ テクスチャの差異化
ウ ベルヴェデーレのアポロン
- ⑥ ア 浮き彫り イ テクスチャの差異化
ウ パルテノン・フリーズ

- (6) 下の仏像の種類と所蔵場所の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は16。

著作権保護の観点により、
掲載いたしません。

	仏像の種類	所蔵場所
①	如来	室生寺
②	菩薩	浄瑠璃寺
③	如来	浄瑠璃寺
④	菩薩	平等院鳳凰堂
⑤	如来	平等院鳳凰堂

- (7) 下の作品A～Dとア～エのデザイナーの組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は17。

A	B	C	D
著作権保護の観点により、掲載いたしません。	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	著作権保護の観点により、掲載いたしません。

<デザイナー>

- ア 倉俣史朗
 イ 剣持勇
 ウ 柳宗理
 エ 深澤直人

	A	B	C	D
①	ア	イ	ウ	エ
②	イ	ウ	エ	ア
③	ウ	エ	イ	ア
④	エ	イ	ア	ウ
⑤	エ	ウ	ア	イ
⑥	ウ	ア	エ	イ

(8) ミュラー＝リヤー錯視を、次の①～④の中から一つ選べ。解答番号は18。

①	②
著作権保護の観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の観点により、 掲載いたしません。
③	④
著作権保護の観点により、 掲載いたしません。	著作権保護の観点により、 掲載いたしません。

- (9) 色光の三原色と色料の三原色の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は19。

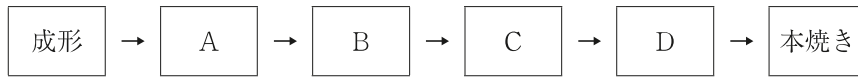
	色光の三原色	色料の三原色
①	レッド, グリーン, シアン	マゼンダ, イエロー, ブルー
②	レッド, イエロー, ブルー	マゼンダ, グリーン, シアン
③	マゼンダ, イエロー, シアン	レッド, グリーン, ブルー
④	マゼンダ, グリーン, ブルー	レッド, イエロー, シアン
⑤	レッド, グリーン, ブルー	マゼンダ, イエロー, シアン

- (10) 次の文章は、景德鎮窯について説明したものである。文中の空欄（ア）～（エ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は20。

景德鎮窯は中国を代表する名窯であり、その歴史は古い。景德鎮窯が発展した背景には、良質な白磁と、（ア）で文様を描く青花の技術がすでに確立していたことがあった。ちなみに青花は、日本では（イ）と呼ばれることもある。そのような背景のもと、（ウ）時代に景德鎮窯が（エ）として指定され、大きく発展することとなった。

- ① ア コバルト イ 色絵 ウ 唐 エ 民窯
- ② ア 鉄 イ 鉄絵 ウ 明 エ 官窯
- ③ ア コバルト イ 染付 ウ 明 エ 官窯
- ④ ア 鉄 イ 鉄絵 ウ 明 エ 民窯
- ⑤ ア コバルト イ 染付 ウ 唐 エ 官窯

(11) 下の図は、焼き物の制作工程を表したものである。図中のA～Dに当てはまる工程の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は21。



<工程>

ア 素焼き……ゆっくりと温度を上げる。焼成温度は700～900℃。

イ 乾燥……十分に乾燥させる。

ウ 施釉……焼き上がりの色や肌合いを考えて、釉薬をかける。

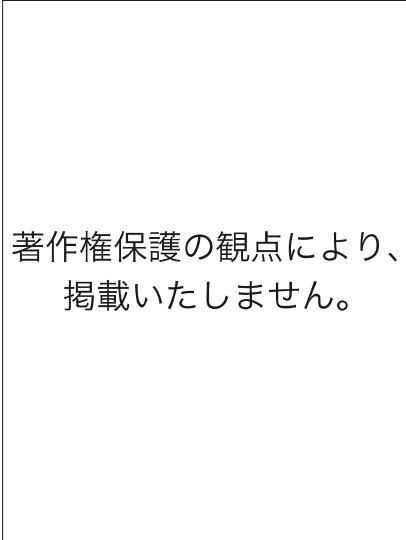
エ 加飾……型押しするなど、模様や装飾をする。

	A	B	C	D
①	ア	エ	ウ	イ
②	ア	イ	エ	ウ
③	イ	エ	ウ	ア
④	イ	ア	エ	ウ
⑤	エ	ア	ウ	イ
⑥	エ	イ	ア	ウ

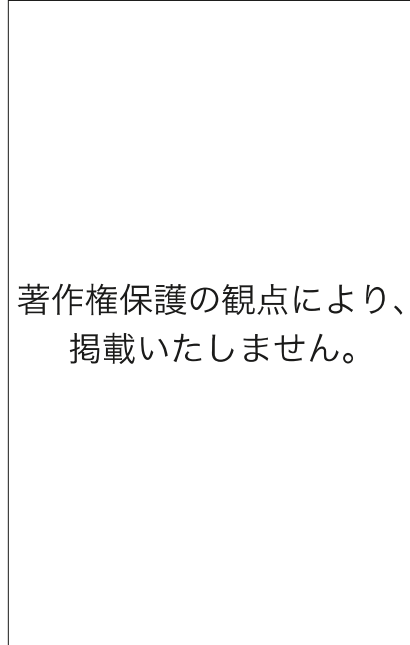
(12) 下の写真のうち、漆が使われていない作品を、次の①～⑤の中から一つ選べ。

解答番号は22。

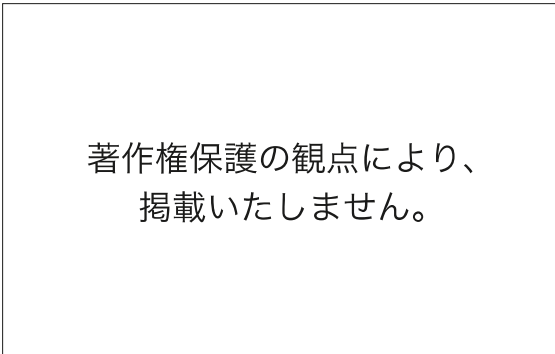
①



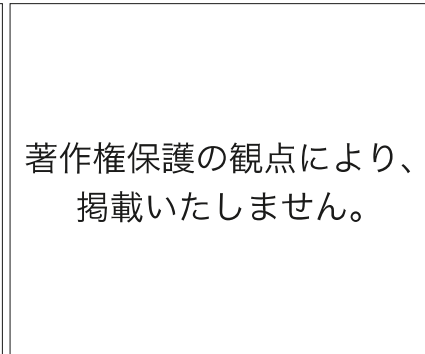
②



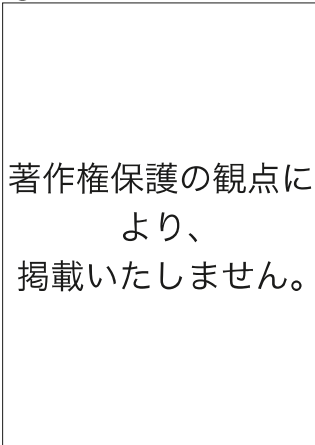
③



④



⑤



(13) 下の表は、19世紀に大きく発展した映像メディアの歴史についてまとめたものである。表中の空欄(ア)～(オ)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は23。

1839年	(ア)が銀メッキした銅板上に光景を固定するという方法で、今日的な写真を発明する。
1831年	ジョセフ・プラトーは10等分程度に分割した円盤に連続する図案を描き、アニメーションを表現する(イ)を発表した。
1878年	(ウ)は複数のカメラを用いて、走っている馬を連続写真として撮影することに成功した。
1891年	(エ)は、一人用の映像鑑賞装置キネトスコープを発明した。
1895年	ルイ・リュミエールが世界初の実写映画といわれる(オ)を撮影する。

- ① ア ジョゼフ・ニセフォール・ニエプス イ フェナキストスコープ
ウ エティエンヌ＝ジュール・マレー エ グラハム・ベル
オ 『列車の到着』
- ② ア ジョゼフ・ニセフォール・ニエプス イ プラキシノスコープ
ウ エドワード・マイブリッジ エ グラハム・ベル
オ 『列車の到着』
- ③ ア ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール イ プラキシノスコープ
ウ エドワード・マイブリッジ エ トーマス・エジソン
オ 『工場の出口』
- ④ ア ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール イ フェナキストスコープ
ウ エドワード・マイブリッジ エ トーマス・エジソン
オ 『工場の出口』
- ⑤ ア ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール イ フェナキストスコープ
ウ エティエンヌ＝ジュール・マレー エ グラハム・ベル
オ 『列車の到着』

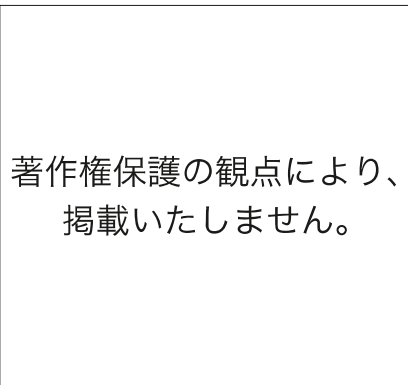
(14) 映像メディアを活用した指導について説明した文として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は24。

- ① ストラップを首や手首にかけるなど、精密機械であるカメラを落とさないための指導をした。
- ② カメラで蛇口から出る水を撮ったが、ぶれて写ってしまう問題を抱える生徒に、レンズを広角にするよう指導した。
- ③ グループで映像制作を行うにあたって、台本や絵コンテを作成して映像全体の流れを全員で把握するように指導した。
- ④ 許可を得ずに他者の顔を撮ることはしないように指導した。
- ⑤ ボールを転がすアニメーションを制作する中で、ボールの動きを速く見せるために、一コマでボールを大きく動かしてみるよう指導した。

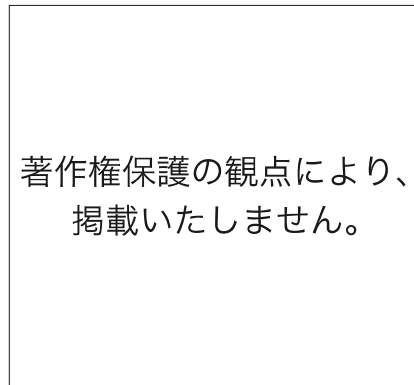
- (15) 下の文章と写真は先史時代の文化と、美術界への影響について説明したものである。文中の空欄（ア）～（ウ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選べ。解答番号は25。

クロマニヨン人によって描かれたフランスの（ア）洞窟壁画は世界的に有名である。日本においては縄文時代の特徴的な土器が見つかっている。〈写真A〉はそのうちの一つで、このような形状の土器は（イ）土器と呼ばれている。（ウ）は、博物館で偶然出会ったこの土器に大いに触発され、〈写真B〉のような作品を残した。

〈写真A〉



〈写真B〉



- ① ア ラスコー イ 遮光器 ウ 岡本太郎
- ② ア アルタミラ イ 火焰型 ウ ヤノベケンジ
- ③ ア ラスコー イ 火焰型 ウ 岡本太郎
- ④ ア ラスコー イ 遮光器 ウ ヤノベケンジ
- ⑤ ア アルタミラ イ 火焰型 ウ 岡本太郎
- ⑥ ア アルタミラ イ 遮光器 ウ ヤノベケンジ

(16) 美術教育の歴史について説明した文として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は26。

- ① ドイツの詩人フリードリヒ・シラーは『美的教育書簡』において、美が個人のうちに調和をもたらし、そういった美を享受する人々の織りなす「遊戯の国」の必要性を説いた。
- ② オーストリアの美術教育実践家フランツ・チゼックは、ウィーン美術学校在学時代、近所の子どもたちとの遊びから、子どもが描く絵の創造性を見出し、子ども自身で成長させる教育方針を主張した。
- ③ 美術教育理論家ハーバート・リードは『芸術による教育』において、個性の伸長と社会性の涵養という相反する目的を統合させ得る教育を審美的教育とし、心理学、精神分析学を引用しながら理論化した。
- ④ ヴィクター・ローウェンフェルドは『美術による人間形成』において、児童画の発達を6段階に分けて考察した。
- ⑤ 画家の山本鼎は、図画教育の主要であった自由画教育を排除し、臨画的方法を強調した。

(17) 次の文章は、一般社団法人全国美術館会議が掲げる「美術館の原則」についての記述の一部である。記述内容として**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は27。

- ① 美術館は、美術を中心にした文化の価値を継承・発展、さらに創造することに努め、公益性・公共性を重視して人間と社会に貢献する。
- ② 美術館は、調査研究に努め、その成果の公表によって社会から信用を得る。
- ③ 美術館は、設置目的・使命を達成するため、収益性を重視した運営を行い、美術館に関わる人々と作品・資料等の安全確保を図る。
- ④ 美術館は、体系的にコレクションを形成し、良好な状態で保存して次世代に引き継ぐ。
- ⑤ 美術館は、倫理規範と専門的基準とによって自らを律しつつ、人々の表現の自由、知る自由を保障し支えるために、活動の自由を持つ。

- (1) 下の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）第2章 各教科 第6節 美術 第1 目標」である。文中の空欄（ア）～（エ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は28。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、（ア）や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を（イ）、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の（ウ）と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、（エ）を培う。

- ① ア 生活や社会の中の美術 イ 洗練させ ウ 特性 エ 社会性
- ② ア 生活や社会の中の美術 イ 創意工夫し ウ 特性 エ 豊かな情操
- ③ ア 日常的な美的経験 イ 洗練させ ウ 意図 エ 豊かな情操
- ④ ア 日常的な美的経験 イ 創意工夫し ウ 特性 エ 社会性
- ⑤ ア 生活や社会の中の美術 イ 創意工夫し ウ 意図 エ 豊かな情操

- (2) 下の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）第2章 各教科 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。文中の空欄（ア）～（ウ）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は29。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・（ア）で深い学びの実現を図るようにすること。その際、（イ）見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ること。
- (2) 第2の各学年の内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については相互に関連を図り、特に（ウ）に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力とを総合的に働かせて学習が深められるようにすること。

- ① ア 対話的 イ 造形的な ウ 発想や構想
- ② ア 対話的 イ 創造的な ウ 発想や構想
- ③ ア 対話的 イ 造形的な ウ 独創性
- ④ ア 協調的 イ 創造的な ウ 独創性
- ⑤ ア 協調的 イ 造形的な ウ 発想や構想

(3) 「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 美術編（平成 29 年 7 月） 第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」において示されているものとして**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 30。

- ① 見る力や感じ取る力、考える力、描く力などを育成するために、スケッチの学習を効果的に取り入れるようにすること。
- ② 指導者である教師の価値観を十分に理解させ、特定の表現形式や表現手段、技法を全体に対して指導すること。
- ③ 美術の表現の可能性を広げるために、写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアの積極的な活用を図るようにすること。
- ④ 日本及び諸外国の作品の独特な表現形式、漫画やイラストレーション、図などの多様な表現方法を活用できるようにすること。
- ⑤ 表現の材料や題材などについては、地域の身近なものや伝統的なものも取り上げるようにすること。

令和8年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第1次選考試験 中高共通 美術

解答番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	②	①	②	④	④	⑤	⑤	①	⑤	③

解答番号	21	22	23	24	25	26	27
正解	⑥	②	④	②	③	⑤	③

令和8年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験
第1次選考試験 中学校 美術

解答番号	28	29	30
正解	⑤	①	②